

第2章 上位・関連計画等の整理

2-1 まちづくり基本構想と上位・関連計画等との関係

布袋駅東地区のまちづくりの検討にあたり、踏まえるべき主な計画（江南市策定）や事業を次節以降に整理します。

以下に、布袋駅東地区まちづくり基本構想と主な計画や事業との関係を示します。

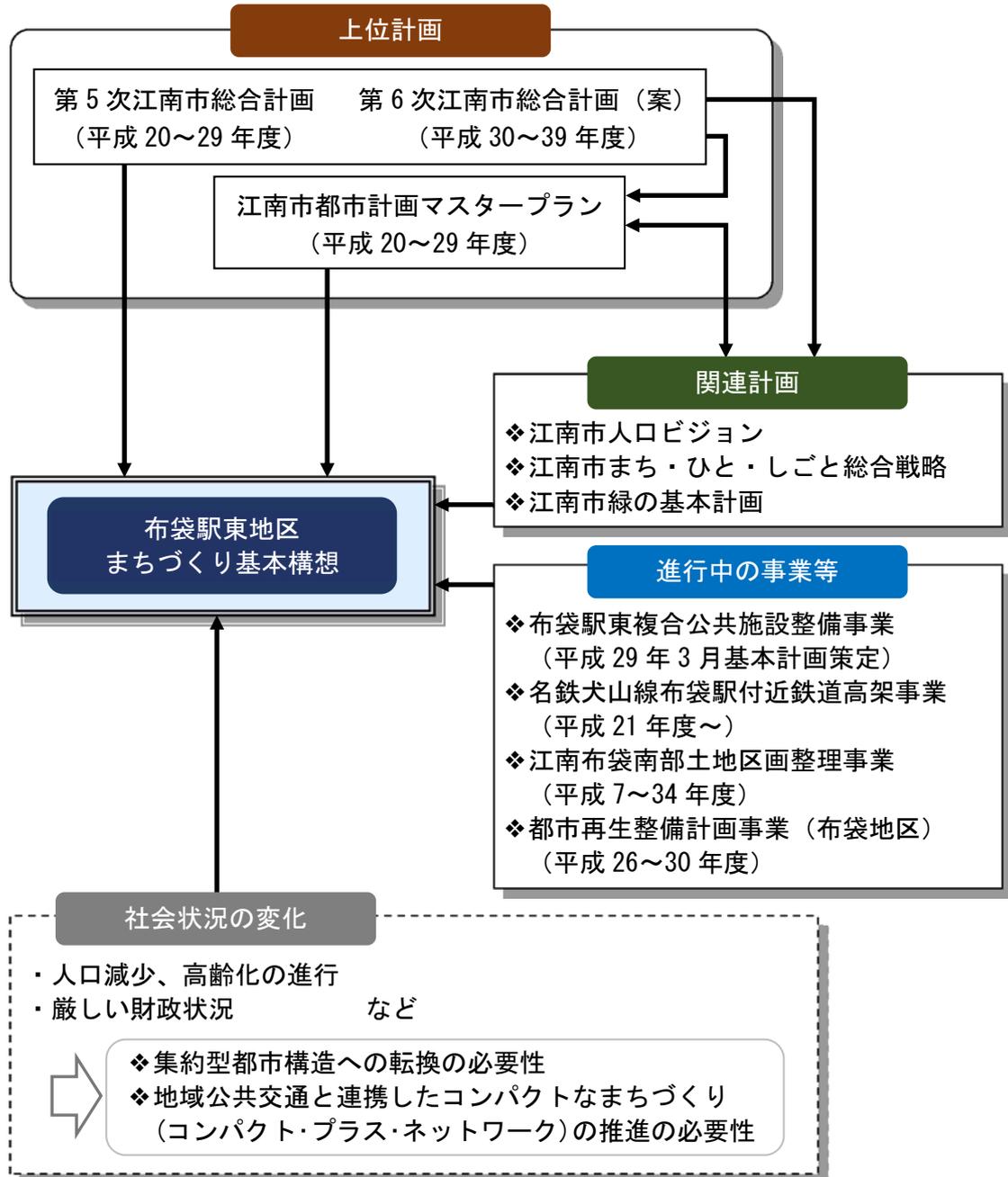


図 布袋駅東地区まちづくり基本構想と上位・関連計画等との関係

2-2 上位・関連計画

布袋駅東地区まちづくり基本構想の上位・関連計画における布袋駅東地区の位置づけについて以下に整理します。

(1) -1 江南市戦略計画（第5次江南市総合計画）

計画の趣旨・位置づけ	江南市における“総合的かつ計画的な行政の運営を図るための指針”となるものであり、江南市が地域全体でめざす将来像や、地域社会づくりの基本方針を明確にするとともに、それを実現するための方策を明確にした計画である。
計画期間	平成20年度～平成29年度 (平成26年3月：第二次改訂基本計画)
主な内容	<p>➤地域社会のしくみ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>だれもが主役、みんなで築く、みんなの郷土 ～地域の進むべき方向を「共に考え」 地域づくりを「共に担う」～</p> </div> <p>➤都市のすがた</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px;"> <p style="text-align: center;">豊かで暮らしやすい生活都市 ～市民の生活が地域で支えられる「生活都市」～</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p>都市機能</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 安心・安全に暮らせるまち ■ 快適・便利に暮らせるまち ■ 市民が生きがいをもち、活力あふれるまち ■ 豊かな人材が育つまち ■ 環境と調和した豊かな生活の場があるまち </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> </div>

布袋駅東地区に関する事項

布袋駅東地区は、土地利用構想図において「にぎわいのゾーン」および「くらしのゾーン」の拡大区域に位置づけられている。

①にぎわいのゾーン

市民生活の中心となるゾーンとして、都市機能の集積を高めるとともに、江南市のシンボルとなる景観とにぎわいを形成する。

②くらしのゾーン

安全で安心して暮らせる居住環境を形成するため、市街地整備を進めるとともに、うるおいのある快適な空間づくりを進める。



図 土地利用構想図

(1) -2 第6次江南市総合計画（案） ※平成29年9月時点

<p>計画の趣旨・位置づけ</p>	<p>江南市の将来像を実現するための、市民と行政の“総合的かつ計画的なまちづくりの指針”として、市の最上位計画に位置づけられる。（平成30年度からの新たな計画を策定中）</p>
<p>計画期間</p>	<p>平成30年度～平成39年度</p>
<p>主な内容</p>	<p>■めざす都市の将来像</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">地域とつくる多様な暮らしを選べる生活都市 ～生活・産業・文化の魅力があふれ、選ばれ続けるまち～</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p>基本目標</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 地域の魅力を活かした機能的なまちづくり 2. 子どもが生き生き育つ環境づくり 3. 生活を支える雇用・就労環境づくり 4. 安心・安全の地域づくり 5. 常に改革を進める行政 </div> <div style="text-align: right; margin-top: 20px;">  </div>

布袋駅東地区に関する事項

＞土地利用

布袋駅東地区は、土地利用構想図において「住宅ゾーン」および「商業ゾーン」に位置づけられている。また、江南市における主要な拠点として、布袋駅を中心とする区域を「中心拠点」として位置づけている。

①住宅ゾーン

安全で安心して暮らせる居住環境を形成するため、市街地整備を進めるとともに、うるおいのある快適な空間づくりを進める。

②商業ゾーン

市民生活の中心となるゾーンとして、都市機能の集積を高めるとともに、江南市のシンボルとなる景観とにぎわいを形成する。

＞市長の戦略政策

政策1「多彩な魅力・多様な暮らしを選べるまちの実現」の戦略プロジェクト「布袋駅東側の開発促進による地域経済の活性化」に以下の3つが位置づけられている。

①布袋駅東複合公共施設整備事業

布袋駅周辺の整備計画などを策定し、駅東複合公共施設の整備を促進する。

②交通結節点整備事業

布袋駅周辺の道路や雨水排水路等の基盤整備を行い、交通結節機能を改善するとともに安全で安心なまちづくりを進める。

③布袋駅付近鉄道高架化整備事業

布袋駅付近の鉄道高架化及び高架化に伴う周辺整備を行い、鉄道による駅東西の地域分断を解消し、良好な市街地を形成する。



図 土地利用構想図

(2) 江南市都市計画マスタープラン

<p>計画の趣旨・位置づけ</p>	<p>都市計画の観点から、市が創意工夫し策定する「まちづくりについての基本的な方針」であり、江南市が定める都市計画は、この「都市計画マスタープラン」に即した計画である必要がある。</p>
<p>計画期間</p>	<p>平成20年度～平成29年度</p>
<p>主な内容</p>	<p>■将来都市像と都市づくりの目標</p> <p>➢都市づくりのテーマ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>水と緑につつまれた 住みたい・住み続けたいまち 江南 ～豊かで暮らしやすい生活都市をめざして～</p> </div> <p>➢都市づくりの目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然を活かした暮らしやすい環境の形成 ・街なかを中心とした快適な都市基盤の形成 ・市の活力を牽引する産業機能の強化 ・安心・安全な暮らしを確保する防災機能の強化 ・市民参画による都市づくりの推進 <p>➢将来の都市構造</p> <p>将来都市像の実現に向けては、都市機能を重点的に集積・維持する都市核や、市民に親しまれ多くの人が集う拠点を明確にするとともに、都市核、拠点及び周辺都市とを有機的に結ぶ都市軸を明確にし、必要となる土地利用や都市施設等を配置していくことが必要となる。</p> <p>このため、本市の都市核及び都市軸などを次のように設定する。</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>※布袋駅周辺は将来都市構造における「サブ核」に位置づけられている。</p> <p style="text-align: center;">図 土地利用構想図</p>

布袋駅東地区に関する事項

■布袋駅東地区を含む「南部地域」の地域別構想

◇南部地域のまちづくりテーマ

地域の歴史性を活かした新しい拠点づくりと
市の活力を牽引する産業基盤の強化

◇南部地域のまちづくり方針図



➤土地利用の方針

- ・布袋駅東側の市街化調整区域については、市街化区域への編入を推進し、市街地開発事業等によって駅を中心とした利便性の高く良好な居住空間の創出を図る。特に駅前には、本市の南玄関としてふさわしい土地の有効活用を図る。

➤市街地整備の方針

- ・布袋駅周辺は、鉄道高架事業とあわせ、(都)布袋駅線や駅前広場等の交通結節機能整備を推進するとともに、駅前にふさわしい一体的な整備として市街地開発事業を促進する。

➤交通施設の方針

- ・地区幹線道路である(都)江南通線や補助幹線道路の(都)布袋駅線、(都)木賀線、(都)布袋本町通線、特殊道路の(都)布袋駅西通線については、鉄道高架事業などの布袋駅周辺の整備と調整を図りながら整備を進める。

➤都市防災の方針

- ・布袋地区など木造家屋が密集している既成市街地は、町並みの保全に配慮しつつ、生活道路の拡幅等の促進やオープンスペースの確保により、防災機能の向上に努める。

(3) 江南市人口ビジョン

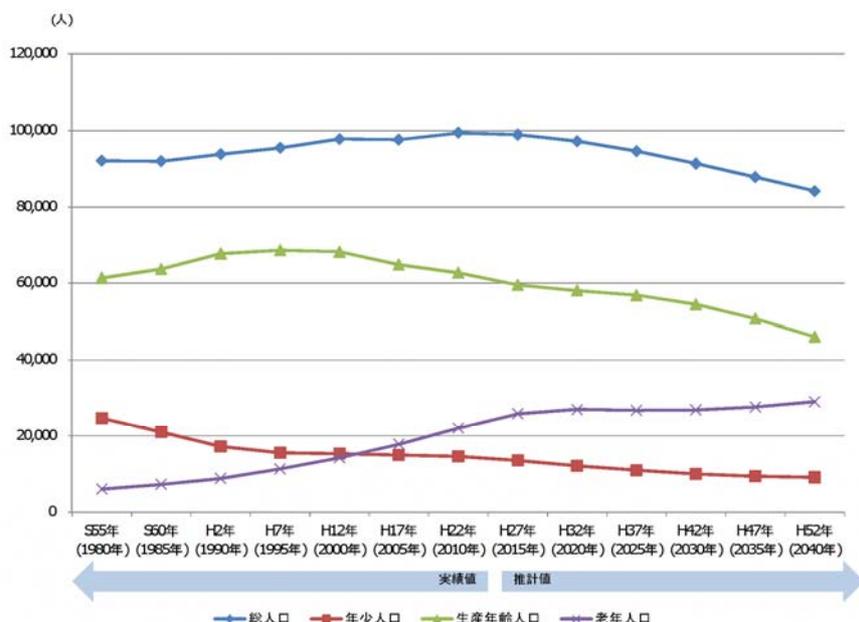
計画の趣旨・位置づけ	人口減少やそれに伴う経済縮小の克服に向けて、人口の現状分析や将来人口推計等を基に、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示したものである。また、人口ビジョンに基づく具体的施策等をまとめた「江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を併せて策定した。
策定年月	平成28年3月
主な内容	

■人口推移

昭和55年（1980年）以降の人口の推移を国勢調査から整理すると、現在に至るまでは人口は微増傾向ですが、将来的に人口減少に転じることが見込まれています。

年齢3区分の人口構成からみて、年少人口は減少を続け、生産年齢人口は平成12年（2000年）以降、減少に転じています。

一方、老年人口は増加を続ける見込みとなっています。



資料：実績値 国勢調査、推計値 国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来人口（平成25年3月推計）」

図 江南市の人口の推移

■目指すべき将来の方向

「豊かで暮らしやすい生活都市」の実現

- 住んでみたいと思わせる“まち”
- 安心して子育てに取り組める“ひと”がつながる環境
- 安定した生活を支える“しごと”づくり
- 安心して暮らせる“地域”づくり

■人口の将来展望

江南市の人口における主要課題として、以下の2つの視点から条件を仮定して、将来人口を設定します。

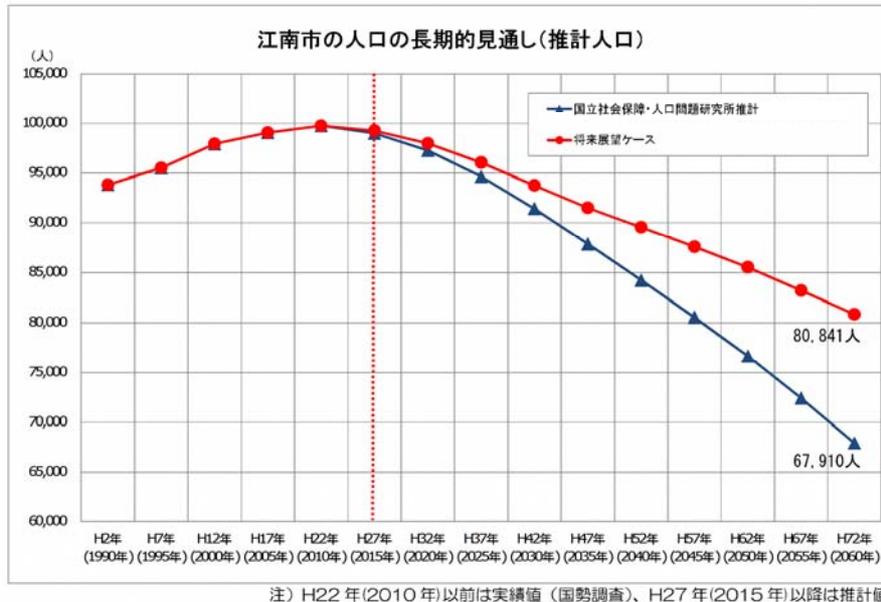
○少子化への対応

出生数を増やすため、国の長期ビジョンを勘案し、合計特殊出生率を将来的に平成42年（2030年）に「1.80」、平成52年（2040年）に「2.07」に誘導する。

○人口流出の抑制

若年層を中心とした転出増傾向を是正するため、現状で純移動率がマイナスの年齢階層の純移動率を下記のように誘導する。

- ①男性 35 歳～59 歳、女性 40 歳～59 歳については、平成 72 年（2060 年）までに純移動率を“0”に誘導する。
- ②男性 10～19 歳については、進学・就職などにより、ある程度の転出は余儀なくされることから、純移動率を平成 27 年（2015 年）の推計値の 1/2 に誘導する。
- ③確実に出生数を増やすために、女性 20～29 歳の純移動率を平成 72 年（2060 年）までに、平成 27 年（2015 年）の推計値の 1/2 に誘導する。



注) H22 年(2010 年)以前は実績値(国勢調査)、H27 年(2015 年)以降は推計値
 図 江南市の人口の長期的見通し(推計人口)

布袋駅東地区に関する事項

■布袋駅東地区が属する「布袋地区」の人口動向

布袋地区は「人口は、減少傾向にあり、平成 72 年（2060 年）時点で、平成 22 年（2010 年）比で約 60～70%程度となることが見込まれます。老年人口（65 歳以上）は、平成 52 年（2040 年）をピークに減少し、高齢化率は 33%程度で推移する見込みです。」とされている。



注) H22 年(2010 年)以前は実績値(国勢調査)(※年齢不詳分を除く)、H27 年(2015 年)以降は推計値

図 布袋地区の人口動向

(4) 江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略

<p>計画の趣旨・位置づけ</p>	<p>人口減少やそれに伴う経済縮小の克服に向けて、今後の目指すべき将来の方向と人口の将来展望を示した「江南市人口ビジョン」に基づき、今後5か年の目標や施策の基本的方向、具体的施策等をまとめたもの。</p>
<p>計画期間</p>	<p>平成27年度～平成31年度 ※平成28年3月策定</p>
<p>主な内容</p>	<p>■コンセプト</p> <div style="text-align: center;"> <p>江南市の優位性</p> <ul style="list-style-type: none"> ●名古屋市都心部への高いアクセス性 ●歴史資源 ●身近な自然 ●木曾川下流域に比べ地盤が良い <p>↓</p> <p>全ての世代が互いに支え合う生活都市こうなん ～ 笑顔があふれ、健康で生きがいを持って暮らし続けられるまち ～</p> </div> <p>■基本目標</p> <p>基本目標1：住みたいまち“江南”づくり 誰もが住みたい、住み続けたいと思える生活環境の充実を図るため、名古屋市都心部への高いアクセス性と緑や水辺などの良好な自然環境といった江南市の強みを活かし、都市的機能と自然環境がそれぞれ機能的に結びついたコンパクトシティ構想の実現を目指します。</p> <p>基本目標2：子育てしやすい環境づくり 若い世代が安心して子育てができるよう、妊娠・出産から育児まで切れ目なく地域全体で子育てする環境の形成を目指すとともに、支援制度の充実や愛知江南短期大学との連携事業を推進し、子育てしやすい環境を目指します。</p> <p>基本目標3：働き続けられる雇用・就労環境づくり 雇用の安定と創出、地域経済の活性化を図るため、企業誘致の推進や市内事業者への支援の充実を図ります。また、若い世代の就職機会の確保や女性、高齢者等が働き続けられる就労環境の創出を目指します。</p> <p>基本目標4：安心して暮らせる地域づくり 地域社会を構築する様々な団体や市民同士が共に助け合い、高齢者や外国人居住者等も安心して暮らせる地域づくりを目指します。</p>

布袋駅東地区に関する事項

※「基本目標1：住みたいまち“江南”づくり」の目標達成のための取組

○江南市の顔となる駅前の魅力向上

江南市の顔となる江南駅・布袋駅周辺の美しい駅前景観づくりに向けて、市民の協力のもと花や緑を増やす取組を積極的に行うことや、商業団体等事業費補助金の活用による空き店舗の利用促進等により、市民が愛着を持ち、気軽に集い憩える交流拠点の創出を図り、活性化・賑わいづくりを推進します。

(5) 江南市緑の基本計画

<p>計画の趣旨・位置づけ</p>	<p>江南市の緑地の保全及び緑化の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、長期的な視点で緑とオープンスペースに関する将来像と、その将来像の実現に向けた各種方針を示すもの。</p>
<p>目標年次</p>	<p>平成29年度 ※平成23年3月策定</p>
<p>主な内容</p>	<p>■基本理念</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; text-align: center; margin: 10px 0;"> <p>みんなで育む自然と暮らしが調和した緑づくり</p> </div> <p>■緑の将来像図</p> <p>凡 例</p> <ul style="list-style-type: none"> ■骨格となる緑 <ul style="list-style-type: none"> 本市の緑の骨格（木曾川） 市街地周辺の緑（農地など） ■暮らしやすさを支える緑 <ul style="list-style-type: none"> 拠点となる緑 まちの顔となる緑 伝統・歴史的な緑 まちなかの身近な緑 ■軸となる緑 <ul style="list-style-type: none"> 河川・水路・河川沿いの緑 <p>— 都市計画道路 - - - 鉄道 河川・水路</p>

図 緑の将来像図

布袋駅東地区に関する事項

■布袋駅東地区を含む「南部地域」の緑の施策

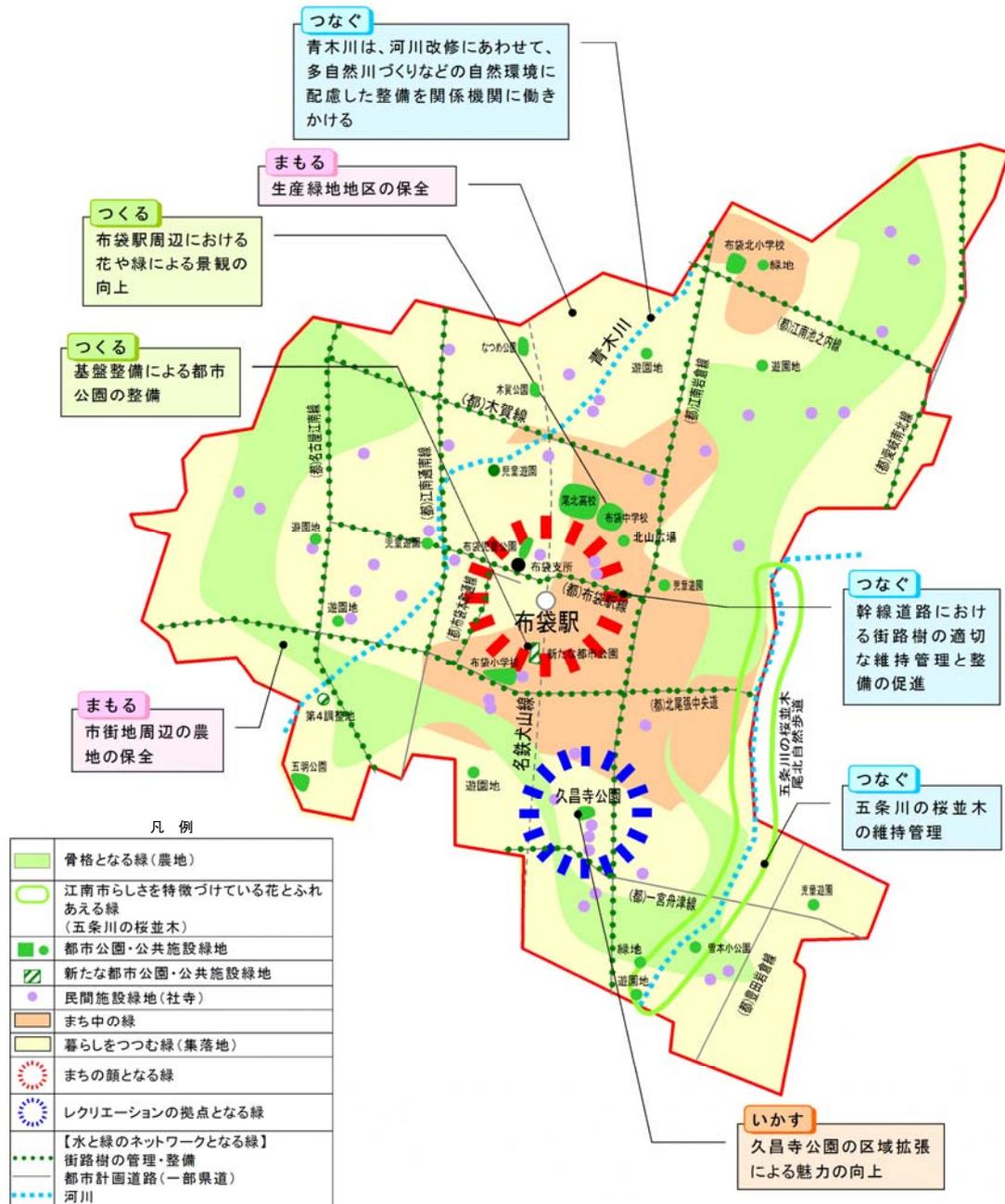


図 緑の施策整理図

➤緑の概況

- 布袋駅周辺は土地区画整理事業により、新たな都市公園の整備が進められている。
- 街区公園は4箇所あるが、都市公園の1人当たり面積は4地域で最も低い水準にある。

➤つくる

- 人が多く集まるサブ核である布袋駅周辺は、花いっぱい運動の実施と花と緑による景観の向上に努める。

➤つなぐ

- (都)布袋駅線などの幹線道路の街路樹については適切な維持管理に努めるとともに、未整備区間については整備を促進する。

2-3 布袋駅周辺の事業

布袋駅周辺で行われている各種の事業の目的や状況について以下に整理します。

(1) 布袋駅東複合公共施設整備事業 布袋駅東複合公共施設基本計画（平成29年3月策定）より

事業の目的						
安心・安全な生活につながる公共サービスの提供および賑わい・交流の創出を実現するため、駅前に複合公共施設を整備するもの。						
事業期間		年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
事業スケジュール		事業者募集・選定	→			
		設計・建設の実施	→			

事業の概要	
■事業対象地の概要	
所在地	江南市北山町西
面積	約9,000㎡
所有者	平成29年度～30年度中に市が取得予定
区域区分	市街化調整区域⇒市街化区域に編入予定（近隣商業地域）
建ぺい率	建ぺい率：60%、容積率200%
容積率	⇒建ぺい率：80%、容積率200%に変更予定
現状	大部分が更地であり、一部を倉庫や駐車場として使用



図 事業対象地

■基本コンセプト

江南市の南玄関口にふさわしい、
安心して住み続けられるまちの交流施設

■整備目標

1. 周辺地域の市民の生活を支え、安心して住み続けるために必要な施設を整備する。
2. 駅前の好立地を活かし、市民の利便性が高く、利用者数（来客数）が望める施設とする。
3. 必要な公共サービスを集約し、効率的・効果的な複合サービスを提供する施設とする。
4. 江南市の南玄関口としての魅力向上のため、複数の導入機能の相乗効果が期待できる施設とする。
5. 民間施設を併設し、賑わい・交流をもたらす拠点性の強い施設とする。

■導入規模



■導入イメージ



※注：本図はイメージ図であり、実際の配置は今後検討する。

経過と現状

- 平成29年3月
：布袋駅東複合公共施設基本計画を策定



図 整備予定地の状況

(2) 名鉄犬山線布袋駅付近鉄道高架事業

事業の目的

名鉄犬山線は江南市を南北に走る鉄道であり、江南市はこの鉄道を中心に発展してきた。これに伴い、自動車交通は増大し、鉄道による踏切遮断は交通渋滞を発生させており、鉄道を挟む地域間の交通や市民生活に支障をきたしている。さらに、これによる地域分断は、良好な市街地の形成に障害となっている。

こうした状況を解消するため、江南市布袋地区において、一般国道 155 号の拡幅（4 車線化）、都市計画道路布袋駅線の整備並びに周辺市道の整備に併せて、一般国道 155 号踏切を始め 6 カ所の踏切を除却する鉄道高架事業を進めている。

当該事業により、当地区における踏切渋滞・踏切事故といった問題の解消や交通利便性の向上を図る。また、江南市では、布袋駅西地区において江南布袋南部土地区画整理事業を進めており、鉄道高架事業の効果と併せて、良好な市街地の形成が促進されている。

事業期間 平成 21 年度（工事着手）～

事業の概要 事業区間は、起点側 田代町地内から布袋駅を挟み、終点側 木賀町地内までの 1.8km であり、高架延長は 1.4km となる。

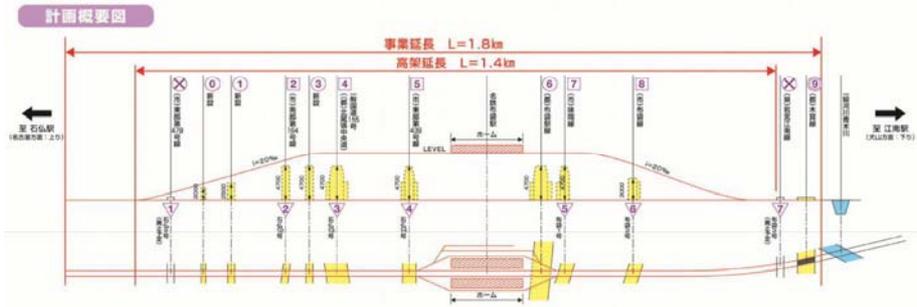


図 事業概要

経過と現状

- 平成 21 年度：工事着手
- 平成 25 年度：仮線へ切替
- 平成 29 年度：名古屋方向本線が高架に切替



図 整備状況

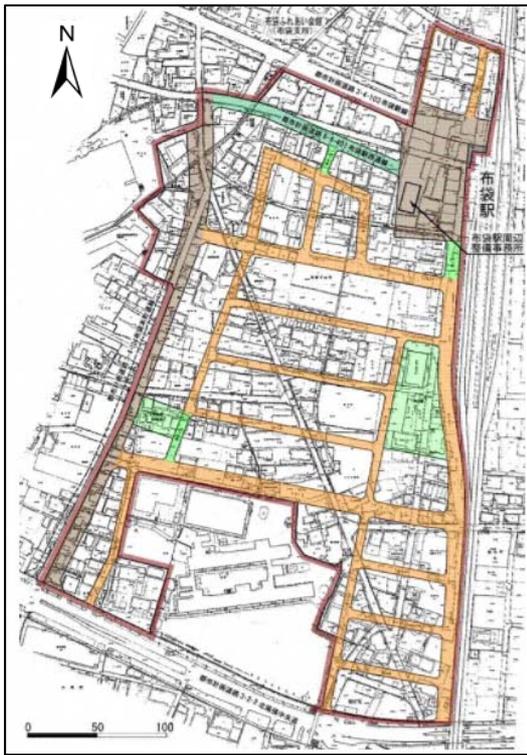
(3) 江南布袋南部土地区画整理事業

事業の目的
 本地区は、江南市の南部にあり、名鉄犬山線布袋駅を中心に江南市の南の拠点として発展が望まれる地区である。しかし、駅周辺の住宅地は未接道で開発困難な空地を残す既成市街地であり、また狭い道路沿いに老朽化した木造建物が密集し、居住環境面、商業振興面、防災面などいずれをとらえてみても問題が多くそれらの整備が重要な課題となっている。このため、都市計画道路を根幹に公共施設等の整備改善を図るとともに、健全で良好な市街地を再生することを目的とする。

資料：愛知の区画整理Ⅱ（平成22年）

事業期間 平成7年度～平成34年度（事業施行期間）

事業の概要



施行者：江南市
 施行面積：9.6ha

図 江南布袋南部土地区画整理事業 計画図

経過と現状

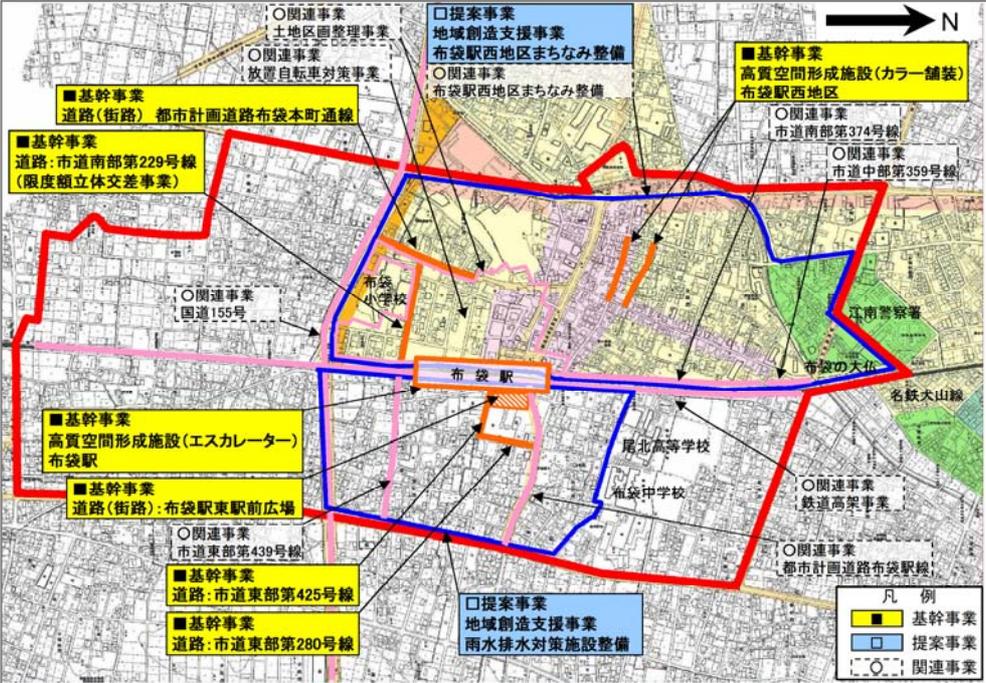
- 平成7年 2月：都市計画決定
- 平成8年 3月：事業計画決定
- 平成11年10月：変更事業計画決定（第1回）
- 平成13年 1月：仮換地指定
- 平成17年 2月：変更事業計画決定（第2回）
- 平成21年 3月：変更事業計画決定（第3回）
- 平成27年 3月：変更事業計画決定（第4回）

※平成29年4月1日時点の進捗率96.5%（事業費ベース）



図 整備状況

(4) 都市再生整備計画事業（布袋地区）

事業の目的	<p>都市再生整備計画事業は、地域の歴史・文化・自然環境等の特性を生かした個性あふれるまちづくりを実施し、全国の都市の再生を効率的に推進することにより、地域住民の生活の質の向上と地域経済・社会の活性化を図るための国の制度である。</p> <p>鉄道の高架化が進む布袋地区においては、平成16年度から5年ごとに都市再生整備計画を立案し、各種基盤整備を実施している。現在は3期目の都市再生整備計画を立案し、事業を進めている。</p>
事業期間	<p>平成26年度～平成30年度（交付期間） ※平成26年度3月策定（平成29年1月：第3回変更）</p>
事業の概要	<p>■目標：鉄道高架を中心とした安心・安全な暮らしやすいまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・目標1 鉄道高架の推進と交通結節点の改善 ・目標2 安心・安全な生活環境の確保 ・目標3 地域資源を生かしたまちづくり <p>■計画区域の整備方針</p> <p>整備方針1：鉄道高架の推進と交通結節点の改善 鉄道高架事業を推進するとともに関連する駅へのアクセス道路、駅前広場等の整備により利便性の向上を図る。</p> <p>整備方針2：安心・安全な生活環境の確保 狭隘な道路を解消する道路事業等をはじめとする基盤整備により生活環境の充実を図る。</p> <p>整備方針3：地域資源を生かしたまちづくり 住民のまちづくり活動と連携して、地区内の古い町並み等の地域資源を生かした景観整備を行うことにより、新たなまちの賑わいを創出する。</p> <p>■整備方針（概要図）</p> 
経過と現状	<ul style="list-style-type: none"> ・平成26年 3月：都市再生整備計画策定（当初計画） ・平成26年10月：第1回変更 ・平成27年12月：第2回変更 ・平成29年 1月：第3回変更

2-4 上位・関連計画等のまとめ

(1) 上位・関連計画

上位・関連計画における布袋駅東地区に関する内容を以下に整理します。

表 上位・関連計画のまとめ

上位・関連計画	布袋駅東地区に関する内容
江南市戦略計画 (第5次江南市総合計画)	<ul style="list-style-type: none"> ・「にぎわいゾーン」及び「くらしのゾーン」に位置づけられており、都市機能の集積や安全で安心して暮らせる居住環境を形成することとしています。
第6次江南市総合計画(案)	<ul style="list-style-type: none"> ・「住宅ゾーン」及び「商業ゾーン」に位置づけられており、安全で安心して暮らせる居住環境の形成や都市機能の集積をすることとしています。 ・江南市の「中心拠点」に位置づけられています。
江南市都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> ・江南市の「サブ核」として位置づけられています。 ・「布袋駅東側の市街化調整区域は、市街化区域への編入を推進し、市街地開発事業等によって駅を中心とした利便性の高く良好な居住空間の創出を図る。特に駅前は、本市の南玄関としてふさわしい土地の有効活用を図る。」こととしています。
江南市人口ビジョン	<ul style="list-style-type: none"> ・布袋地区の人口は、減少傾向にあり、平成72年時点の人口は、平成22年比で約60～70%程度となることが見込まれます。 ・老年人口は、平成52年をピークに減少し、高齢化率は33%程度で推移する見込みとされています。
江南市まち・ひと・しごと創生総合戦略	<ul style="list-style-type: none"> ・市民が愛着を持ち、気軽に集い憩える交流拠点の創出を図り、活性化・賑わいづくりを推進することにより、「江南市の顔となる駅前の魅力向上」を図ることとしています。
江南市緑の基本計画	<ul style="list-style-type: none"> ・布袋駅周辺は、花いっぱい運動の実施と花と緑による景観の向上に努めることとしています。 ・(都)布袋駅線などの幹線道路の街路樹は、適切な維持管理に努めるとともに、未整備区間については整備を促進することとしています。

(2) 布袋駅周辺の事業

布袋駅周辺で実施されている各事業の内容を以下に整理します。

表 事業のまとめ

事業	事業内容
布袋駅東複合公共施設整備事業	<ul style="list-style-type: none">• 公共サービスの提供及び賑わい・交流の創出を実現するため、平成 32 年度の供用開始を目指し、複合公共施設を整備することとしています。• 民間施設を併設し、賑わい・交流をもたらす拠点性の強い施設を検討しています。
名鉄犬山線布袋駅付近 鉄道高架事業	<ul style="list-style-type: none">• 鉄道を挟む地域間の交通や市民生活に支障をきたしている状況を解消するため、国道 155 号をはじめとした道路の整備に併せて、6 カ所の踏切を除却する鉄道高架事業を進めています。• 平成 29 年 6 月には名古屋方向の本線が高架に切り替わりました。
江南布袋南部土地区画整理事業	<ul style="list-style-type: none">• 居住環境面、商業振興面、防災面などの問題を踏まえ、都市計画道路を根幹に公共施設等の整備改善を図るとともに、健全で良好な市街地を再生することを目的とし、土地区画整理事業を進めています。• 平成 8 年度に事業計画決定され、現在進捗率は 96.5%となっており、道路や街区がほぼ形成されて新しい住宅等が建ち並んでいます。
都市再生整備計画事業 (布袋地区)	<ul style="list-style-type: none">• 鉄道高架の推進と交通結節点の改善や安心・安全な生活環境の確保、地域資源を生かしたまちづくりを図ることとしています。• 平成 30 年度完了を目標に、駅周辺の道路整備や雨水排水対策施設の整備などが進められています。